

ポストプーチンと日ロ関係

NHK解説委員

石川 一洋
いしかわ いちよう

- *プーチンの記録的圧勝の背景
- *選挙で訴えた2つのこと
- *次の6年間でプーチンが目指すレガシー
- *経済政策で有望視される4人
- *2024年の大統領交代を示唆
- *メドベージェフが最有力候補か
- *次期大統領に求められる要件
- *トランプのアメリカとどう付き合うか
- *ポストプーチンまで関係改善は望み薄
- *今後の日ロ関係はどう動くか



柴生田 それでは開会いたします。（拍手）
このところ毎年この時期にはいつも石川さん
においていただいております。米朝関係とか、
いろいろな問題でロシアの話題が最近ございま
す。今日はポストプーチンの話、それから昨年
末たいへん話題になりましたけれども、何も変
わってないように見える日ロ関係、そこら辺の
ところを今日はじっくり伺いたいと思います。
それでは石川さんよろしくお願いいたします。
（拍手）

プーチンの記録的圧勝の背景

石川 今司会の方からご紹介いただきました
けれども、ここ数年ロシア問題について話させ
ていただいております石川と申します。1年に

一度、伝統のある経済倶楽部で講演させていた
だくというのは私にとってもたいへんありがた
いことで、この時期にこれからの見通しを語る
ということが私にとつての訓練にもなっており
ますし、たいへんありがたいことだと思いま
す。今日は、5月7日にプーチンがとうとう4期
目に当選したということで、プーチン大統領4
期目の見通しとポストプーチン、それから今の
米ロ関係、朝鮮情勢へのロシアの対応、そして
日ロ関係について話していきたいと思えます。
まず、今年3月18日の大統領選挙でプーチン
大統領はまさに圧勝しました。これはいろいろ
な要因があつて、有力な反プーチンの候補者を
出させなかつたとか、野党に新味が乏しい等々
の理由は確かにあります。しかしながら、得票